

人は変わる

小坂井中・3 池田 篤弘

私は三年生になって、自分を変えようとする気持ち芽生えてきたと感じています。今まで消極的だった私は、いろいろな活動にやる気を出せずにいました。そんな私が頑張ろうと思えるようになってきたのは、私に積極性が大切だと気づかせる経験があったからです。

私は七月の終わりから八月の初めにかけて、日本赤十字社愛知県支部が主催する、海外派遣に参加しました。今まで縁もゆかりもなかったモンゴルで、たくさんの人と関わることになりました。日本語を話せない方々とも関わっていく中で、とても大切なことを学びました。

私はモンゴルに行く前はとても不安でした。なぜなら私は人とコミュニケーションをとることが苦手で、一緒に行動する日本のメンバーや、モンゴルのメンバーと仲良くなれる自信がなかったからです。日本のメンバーとは、モンゴルでの活動を通して仲良くなることができましたが、私が苦労したのは、モンゴルのメンバーとの意思疎通です。この海外派遣では、モンゴルのメンバーとは英語で会話をしなければなりません。完璧な英語を話せない私にとって、意思疎通がとて難しかったです。実際に日本の文化や自分のことを話そうとするときに、相手に自分の伝えたいことが伝わらなかつたり、逆に相手の話していることが理解できなかつたりすることもありました。

例えば、バスで移動しているときのことです。隣の席は、現地ホストであるバトツオルモンさんだったのですが、他のメンバーは自分の好きなものやそれぞれの国の文化について話しているのに対し

て、私はどうやって自分を英語で表現すればいいか分かりませんでした。完璧にこだわりすぎて、自分の言葉が通じなかったり、バトツオルモンさんの英語を聞き取るのが難しすぎたりして、上手く会話を続けることができませんでした。ついには、バトツオルモンさんが寝てしまうという状況になってしまいました。話しかけても会話が弾むかどうか不安だったので、結局会話を踏み出すことができませんでした。とても気まずい雰囲気の中で、早くこの時間が過ぎないかなと思ってしまうました。私はこのような状況でだんだんと自信をなくし、自分から関わろうとする意欲をなくしてしまいました。しかし、モンゴルのメンバーとの交流や、ホームステイなどで意思疎通ができないと、相手を理解することや、自分のことを伝えることができません。そこで、バスから降りた後に勇気を出して、「日本食を知っていますか。」

「弓道について知っていますか。」
など、私の考えた簡単な英語で話してみました。すると、案内言葉の意味が伝わるのが分かりました。私はここで、自分に自信をもつことが大切だと思いました。

また、ホームステイでは、バトツオルモンさんとデパートに行きました。デパートの中は、日本と異なるところがたくさんありました。食品コーナーには改札があり、荷物を入れるロッカーがたくさんありました。そのようなシステムに慣れていない私は、どういう風に必要な物をすればいいか分からず、困ってしまいました。すると、バトツオルモンさんが親切にジェスチャーなどを使って教えてくれました。そこで私は、自分が受け身になってはいけないと思い、モンゴルのおすすすめのお土産や、有名なものを尋ねて、自分から関わろうと努力しました。周りの言葉が全く分からない中、買い物を楽しむことができました。買い物の後には、バトツオルモンさんとお互いの趣味について話したり、モンゴルの文化のかるたなどをして遊んだりしました。そのころには、自信をもって言いたいことを伝

えられるようになりました。完璧な英語をできるなら伝えたいですが、それよりも積極性が大切だと思います。自信をもって自らコミュニケーションを試み、工夫しながら相手と通じ合おうとする姿勢が最も重要だと学びました。

これらの経験を通して、私は積極的に人と関わることは、自分に新たな選択肢を与えてくれるものだと思います。私はこれらの経験をする前は、積極的というのは少し面倒くさいものだと思います。しかし、積極的に取り組んでみると、いつしか真剣に向き合っていることに気づきました。海外派遣では、今まで英語だけで会話する機会はなく、いざ実際に会話をするとなったときにはなかなか対応できず、自信をなくしてしまいました。周りの流れに身を任せて、積極的に行動することができなくなってしまうこともありました。しかし、積極的に伝えようとすれば、正確に伝わらなくても楽しく会話することができました。この出来事を体験して、私は積極的になることで、ここまで楽しく活動できるとは思っていませんでした。自分に向いていないと思っていたものも、やってみなければ分からないということを感じました。

私は今、苦手なことや自分に向いていないと思っていることがたくさんあります。これまでの自分では、自分にはできないと割り切っていたでしょう。しかし、今はこれらのことは大きなチャンスだと思いません。どんなことでも積極的に取り組んでみると、そこから興味をもったり、新しい進路を見つけ出したりできると思うからです。これからの人生を送るときは、消極的だった自分から切り替えて、新しいことに挑戦すること、できないことから逃げないこと、なにより、積極的に行動して周りに流されないようにすることを大切に生活していきたいです。

「三つ子の魂百まで」ということわざがあります。辞書を引くと、「幼いころの性格は、年をとっても変わらないこと」というような意味が載っています。しかし、そんなことはないと思います。自分

に変わる気があれば、変わることはできます。このことをこれからも忘れずに生きていきたいです。

バトツオルモンさん。海外派遣で学んだこともたくさんありますが、同時に心残りもあります。初対面だったこともあり、あなたとあまり話すことができませんでした。次に会うときには、成長した自分ともっとたくさん話しましょう。